

財団法人 神奈川県動物愛護協会

2011年度事業報告書

<○…達成 △…一部達成 ●…未達成>

[1. 事業活動方針]

○施設における犬猫の保護・譲渡、各種相談への対応、付属動物病院における人畜共通 伝染病予防、動物間感染症予防や動物の治療を通して、広く一般に動物愛護精神や飼育知識を普及し社会に貢献する。

○不妊去勢手術の強力な実施と啓発活動により、犬猫等の繁殖制限を行い、動物遺棄という違法行為やノラ猫の繁殖をなくすための努力を惜しまず、人と動物とのよりよい共存の為に寄与する。

○「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき「神奈川県動物愛護管理推進計画」に積極的に関わることとする。

○施設で行なう犬猫等の保護・譲渡、相談業務の他、ペットとして輸入された外来種の問題や動物愛護法に含まれながらも愛護動物として扱われていない家畜や実験用動物等の問題にも取組むことを目標とする。

上記事業の円滑な活動のために、事務局を中心に、総務部会、動物愛護推進部会の三者で運営を行う。

[総務部会]

事務局及び協会保護施設・動物病院の円滑な維持運営のサポート

[動物愛護推進部会]

<募金委員会>街頭募金の開催

<渉外委員会>企業に対する支援および賛助会員加入要請

<広報委員会>協会活動およびイベント等の周知、賛助会員の拡充

[事務局]

- ・従業員の雇用管理、経理業務 ・保護動物の飼育管理、医療業務維持
- ・会報・リーフレット等作成 ・会員管理 ・募金箱設置管理
- ・写真展等イベントの企画開催 ・見学、研修等の実施
- ・協会の保護施設の環境整備改善 ・HPの制作管理
- ・保護動物の里親探し及び譲渡後の追跡調査
- ・動物問題及び動物関連法規の相談受付

[2. 事業内容]

1. 動物生命尊重と動物の適正飼育推進及び共存のための活動

ア 動物の保護及び譲渡活動

●犬猫等の保護譲渡を指導的な立場で行い、目標頭数を年間 120 匹以上とする

継続保護数 犬21匹(0) 猫31匹(8) その他11匹 合計63匹(8)

新規保護数 犬8匹(1) 猫50匹(33) その他1匹(1) 合計59匹(35)

譲渡数 犬14匹(1) 猫39匹(32) その他1匹(1) 合計54匹(34)

死亡数 犬5匹(0) 猫6匹(1) その他1匹 合計12匹(1)

現在数 犬10匹(0) 猫36匹(8) その他10匹 合計56匹(8)

※()内は幼齢個体内数

※新規保護のその他は、アライグマ幼獣であった。

* 今期の保護譲渡数は例年になく少ない頭数となり、目標の半数に満たなかった。その理由には、3月11日に発生した東日本大震災被災動物の一時保護を3月17日から受入れていた事が上げられる。以下に、被災動物の一時保護数等を記載する。

成犬10匹:3匹は飼主との同行避難長期保護(2匹:8月まで)。2匹は飼主判明後1匹帰宅1匹譲渡。4匹は他会からの依頼。1匹は飼育ボランティアに委託。

成猫 6匹:3匹は飼主との同行避難長期保護(9月まで)。2匹は県救護本部からの引取り。1匹は手術のための一時保護。

ニワトリ8羽・七面鳥2羽:鳥の保護施設(TSUBASA:千葉県)へ移送するために必要なスクリーニング及び観察期間としての一時保護。

△保護犬猫の CP 管理…保護犬猫の写真・経歴・性格・健康状態等詳しくリスト化

△譲渡犬猫の CP 管理…譲渡後の経緯または連絡等をシステム化する

○犬猫等の譲渡に関する寄付金は基本的に 10,000 円とする。(ワクチン、不妊去勢済)

○飼い犬猫及び拾得犬猫等の保護に関する寄付金は、持込者の状況、犬猫の年齢、大きさ、匹数に応じて事務局にて決める

→経済的に困難な保護依頼が多く、寄付は不妊去勢手術費用程度が多かった。

(保護方法)

○保護依頼登録を行い、保護動物の入出所状況(種別・大きさ・年齢など)を勘案し保護

→被災動物の長期預かりの他、傷病犬猫の長期預かりや譲渡の低迷から保護数は少なかった。

○保護時点で、保護依頼者から協会に所有権委譲の誓約書を交わす

(譲渡方法)

○施設・里親探し会(毎月2カ所、動物愛護週間行事など)で面接後、ご自宅へお届けし、飼育環境を確認した後に譲渡する

→里親会開催数:23回(PETON 鎌倉・美しが丘「ルッカ」にて月1回ずつ開催)

→里親へは全頭ご自宅へお届けし、飼育環境を確認した

△年間5回以上里親探し行事への参加

9月25日:横須賀動物フェスティバル(参加:10頭 譲渡:5頭)

10月16日:神奈川県動物フェスティバル(参加:10頭 譲渡:7頭)

- 成犬猫については、希望により2週間程度のトライアル期間を設ける
→トライアル期間は柔軟に対応し、数か月まで延長した
- 里親探しの広報は、協会HP・報道媒体などを利用する
→順次協会HPに里親探し写真のUPを行うようにし、年度末には動物病院の紹介冊子「アニマルページ」に掲載した

イ 動物に関する相談への対応

- 動物愛護精神及び法律に則り、必要な場合は専門家の意見も聞き適正な返答を行う
(無料)

総電話件数:7,459件 (2010年度:8,842件)

【内訳】	2011年度	(2010年度)
・診療相談	2,703件	2,669件
・保護依頼相談	465件	738件
・里親探し相談	197件	131件
・傷病動物に関する相談	63件	73件
・譲渡に関する相談	266件	416件
・迷子・逸走に関する相談	110件	119件
・里親先からの相談	99件	149件
・その他、保護譲渡に関する相談	72件	58件
・ノラ猫に関する相談	1,516件	1,948件
・動物虐待に関する相談	76件	57件
・飼育上トラブル	63件	55件
・その他、動物相談	152件	209件
・その他、事業管理に関する相談・連絡	1,677件	2,220件

本年度の総電話件数の減少は、電話対応のできる事務担当が1名勤務の日が多く、1回線での電話対応が原因している。しかし、中でも用件よっての増加減少が見られる。特に、保護と譲渡に関する件数が、前年度に比べるともに36%減少しており、譲渡が低迷した要因と考えられる。また、虐待に関する相談が25%増加していることは良い方向に見えないようにも思うが、動物の置かれている状態に気を留め、一歩踏み出す人たちが増えていると見ることができる。これらの要因には東日本大震災の影響があると考えられる。

- 各種相談に応じた資料を整備し、1部送付は無料とする(複数は実費程度寄付)

△犬猫の飼育に関する資料

- 動物に関連した法律、条例の資料

- 集合住宅でのトラブルや対応策に関する資料

- 神奈川県内の動物関連情報(自治体の取組、各市町村の犬猫処分数リストなど)

- 神奈川県内の動物愛護団体と活動内容リスト

- 動物虐待及び飼育指導など、必要に応じ現地調査・指導を行う(無料)

→川崎市猫多頭数飼育者(ゴミ屋敷)の視察:猫遺体1引取り、その後猫2匹長期保護

→インナーシティス...ア視察:環境が劣悪という指摘があり調査。現行法では改善困難

→菊名踏切にて連続して7匹のノラ猫が虐殺され線路上に置かれた事件について、遺体を回収し死因究明を行った。港北警察が深夜の張り込みを行うなど、犯人逮捕に向け

た取り組みや麻布大学の病理解剖結果を警察に通知することで警察との連携強化ができた。

- 動物の遺棄、処分、飼養不可能な繁殖、安易な譲渡、野良猫の増加等をなくすべく、不妊去勢手術は徹底した指導・説明を行い援助する
 - 協会入口に監視カメラを設置したことで、子猫の遺棄現場を録画できた。犯人逮捕にはつながらなかったが、港北警察が画像解析まで行い見回り強化につながった。
- HPにて、不妊手術の必要性や健康管理など、協会の事業内容と共に掲載する
- ノラ猫の増加防止に関する指導及び対応
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲のみ捕獲器の貸出す
(保証金 10,000 円/捕獲器返却時に返金。身分証明の確認)
 - 捕獲器貸出件数:93件 捕獲器貸出延台数:99台
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲を代行する(交通費は依頼者負担)
 - 捕獲代行回数:21回 捕獲手術頭数:57頭
- 「ノラ猫減らし隊賛助会員(年会費 5000 円)」は地域のノラ猫を減少させる活動の一環として、オス猫:4000 円・メス猫:5000 円で施術し地域活動に助力する。尚、個人加入の他、団体及び自治会としての加入も認める
 - ノラ猫減らし隊の加入件数は115件だが、本年度は大規模自治会(神之木台:1350戸 菅田東自治会:2000戸)が2か所加入した。
 - ノラ猫減らし隊賛助会員による施術数:487頭 (オス:155頭 メス:332頭)

ウ 協会附属動物病院の活動

- 保護収容動物のワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術及び健康維持管理
- 譲渡犬猫は駆虫、ワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術実施済み証明及び健康面での特記事項があれば明記し添付する
- 犬猫等の傷病治療、不妊去勢手術は施療を念頭に置き実施する(実費程度御寄付)
- 飼い主の判明しない犬猫及びノラ猫、野生鳥獣の傷病治療。犬猫については不妊去勢手術を積極的に行う
- ノラ猫の繁殖防止対策として、年間1500匹の不妊去勢手術を目標とする
 - ノラ猫手術数:721頭(オス:242頭 メス:479頭)に留まった。勤務獣医師の急な退職等により、附属動物病院の体制が整わなかったことが原因している。
- 動物への診療、飼育・衛生(人畜共通伝染病の防止、飼養環境)指導を通して、動物愛護精神及び健やかな動物との共存の普及に努める
- 人畜共通伝染病(狂犬病予防)、動物間での伝染病予防など予防治療を推進する
- 予防治療は収益事業として基本的に有料とする(事情により施療または御寄付)

2. 動物愛護精神普及のための活動

- 施設の個人見学は、事前の電話予約にて日時を定め対応する
 - 見学者数: 83名
- 団体見学・ボランティア体験、研修は、目的、内容、人数、日時、団体及び責任者を明記した依頼書を事前に提出、動物愛護の推進となるものについてのみ許可(無料)
- 見学・実習・職場体験の日時は施設の業務に支障のない範囲で行う

(以下は団体からの依頼を記載)

2011 6/12 帝京科学大学動物福祉部学生見学:9名
6/22 横浜高等教育専門学校学生見学:4名
7/ 2 日本盲導犬協会訓練学校学生:7名
7/ 9 日大獣医学性サークル見学:7名
7/10 日大獣医学性サークル見学:15名
7/12 駒澤大学法学部動物関連法規研究ゼミ学生見学:5名
7/13 千葉県庁職員視察研修:11名
7/27 テイルズアニマルコネクション見学(愛護団体):4名
8/ 4 磯子高校学生見学:1名
10/10 法政大学社会人大学院生見学相談:1名

2012 2/ 1 開成中学生社会科見学:1名
2/ 3 御茶ノ水高校生見学:8名
2/ 9 日大鶴ヶ丘高校放送部見学取材:3名

実 習: 麻布大学動物行動管理学的研究室:2011.11.18(20名)、2011.11.25(19名)
国際動物専門学校2年生1名:2011.6.5~6.16
帝京科学大学3年1名:2011.9.15~9.25
野生動物専門学校2年生1名:2011.10.4~10.15
国際動物専門学校1年生1名:2011.10.18~11.5
国際動物専門学校1年生1名:2011.11.7~11.20

職場体験:0日 0名

ボランティア登録者数:58名

○施設以外での研修・セミナー依頼の場合、実費は依頼者の負担とする。目的、内容、人数、団体及び責任者を明記した依頼書を提出、企画の可否を通知する。(企画は無料)
セミナー:11/5 「川崎市民講座・犬と猫と人間のよりよい暮らし」講師(受講者20名):山田
講義:11/11 麻布大学動物行動管理学的研究室にて講義:山田会長・後藤副会長
講演:11/26 鎌倉・映画を観る会「犬と猫と人間と」上映後トークショー(入場者約100名):山田
セミナー:11/27 キャットネットかまくら「猫の為、あなたの為になる猫塾」講師:山田
講演:1/22 動物愛護法改正意見交換会(ペット法塾主催):講話(山田)
講演:3/6 獣医学生協会(春大会)シンポジウム:講師(山田)

3. 動物愛護に関する講習会等の開催

●動物愛護思想の啓発に関する講習会セミナーの開催

事業計画時点では、動物愛護管理法改正に向けてのシンポジウムを秋に予定していたが、震災等により企画できなかった。

4. 犬猫以外の動物への対応

ア 特定外来種について

- 引取り飼育許可を得ているアライグマ(特定外来種)については、法に則り保護飼育譲渡を行う
- 保護は譲渡可能な幼獣に限り、収容状況を勘案し行う

→岐阜県可児市から保護依頼があり収容、不妊手術・マイクロチップ埋込み後、当初の拾得者が「駆除個体の引取り飼育」として飼育許可を得てから譲渡搬送

イ その他の動物に対する相談

○個々の動物種に対して、保護可能なものは保護を行う。在来種の場合は動物園等専門施設に届けるよう説明する

○傷病野生動物の保護収容は、神奈川県自然環境保全センターに収容連絡を行う

→6/22・6/29・7/6 に指田所長が自然環境保全センターで研修を行い、協会として傷病野生動物の一時保護資格を取得

5. 機関誌「動愛だより」の発行

→2011年9月15日に発行(3000部作成)

○ 内容…動物愛護精神の普及啓発と協会活動の報告

△ 発行部数等…年間2回、3000部以上

○ 配付先…賛助会員、寄付者、里親先、関係団体等への郵送の他、イベントで配布

6. 協会運営の活性化

ア 賛助会員の拡充

○賛助会員291名…前年より50名増加

●ノラ猫減らし隊賛助会員115件…前年より65件減少:グループ加入の増加

△企業賛助会員4件…前年と同数

イ バザーの開催・参加

○施設事務所で常時バザー用品販売を行う

○地域(六角橋商店街)で毎月1回のバザーを継続する(ボランティア中心で開催)

→商品整理、値付け、チラシ配布、当日の販売等、ボランティアさんが行っている

→バザー収入613,666円となった(予算額56万円)

ウ 協会グッズの作成

△絵はがき、Tシャツ、カレンダー、便箋・封筒など、動物愛護普及活動の一環としてオリジナルグッズの製作販売を行う

→共同船宣伝で作成したポスターの写真をポストカードとして販売(5種1セット:400円)

エ 協会パンフレットの作成配付

→前年度増刷分に対応

オ インターネットのホームページでの協会紹介

○ 内容…協会の経緯、施設、現状及び寄附・バザー用品提供・ボランティアの呼掛け、里親探しなどの他、動物愛護関連情報を発信する

○ 更新…随時、新着情報の更新を行う

カ 募金活動

○街頭募金を年2回行う(春・秋)…場所:みなとみらい

春: 6月4日(土) 参加者 8名 募金額 116,197円(全額被災地支援とした)

→6/11・6/18は雨天中止

秋:11月12日(土) 参加者 12名 募金額 84,190円

11月26日(土) 参加者 8名 募金額 62,825円

△毎月小規模な街頭募金を行う

4月29日(金) 参加者5名 募金額 35,529円

5月5日(木) 参加者11名 募金額 62,740円

10月10日(月) 参加者7名 募金額 35,733円

→街頭募金は真夏・真冬は体調を崩すため中止とした。春・秋の街頭募金と重なる事、また他のイベントとの兼ね合いから3回の実施となった

キ 写真展

○協会活動や現状と保護動物に関する写真展を年1回、2日間行なう

→ 第10回 写真展「小さな命の輝きを見つめて」

日 時:8月1日(月)12時~20時、2日(火)10時~19時

場 所:かながわ県民センター 1階展示場

来場者数:約400名

募 金: 147,024円

バザー : 49,090円 ポストカード : 13,800円

○入場料無料

→写真パネルの他、映像を常時流すなど工夫を凝らした。被災動物救護活動やノラ猫問題、また動物愛護法改正に向けたミニセミナーも開催した

ク 渉外活動

●企業訪問等により、協会活動への支援、企業賛助会員入会を要請する

●施設保護犬猫の飼料の安定供給のために、関連企業への要請を行う

ケ 各種報道を通じての協会の紹介

○取材依頼…報道趣旨が動物愛護に準じ問題のない場合は応ずる

→7月5日 日経新聞取材:高齢者とペット問題

1月15日、3月3日共同通信:菊名踏切猫虐待の件

3月7日 フランス人フリージャーナリスト:日本のノラ猫問題について

3月9日 フジTV/毎日新聞/神奈川新聞:菊名踏切ノラ猫虐待の件

3月10日 女性セブン:菊名踏切ノラ猫虐待の件

●取材要請…協会活動を年間に2回は雑誌、TV、ラジオ等で紹介して頂く

・その他

→アニマルページ広告掲載:動物病院向けフリーペーパー

→フリーペーパー「ひろたりあん」里親募集記事掲載(2010.8月号から毎月掲載)

コ イベントへの参加

○動物愛護の啓発及び動物愛護啓発を盛込んだ物品販売等による活動費収入強化

→6月19日(日)チャリティコンサート(バジル:青葉区):パネル・グッズ販売・講話(山田)

サ 施設改善

●犬の吠え声による苦情を解消すると共に、保護動物の状況改善、また老朽化した施設の補修及び円滑な活動を目指した施設の改善を行う

7. 協力活動

ア 東日本大地震における動物救済活動への支援

- 義援金を募集し「緊急災害時動物救援本部」に送付する
- 被災地で活動する動物愛護団体に支援金を送る：継続中
- 神奈川県内への動物同行避難者の動物一時保護協力
- イ 「神奈川県災害時動物救護活動連絡会議」の一員として、大規模災害が発生した場合に被害を受けた動物達の救護活動を行う
 - 神奈川県動物救護本部を立ち上げるための一助を行ったが、活動が低迷している。
- ウ 「神奈川県動物愛護管理推進計画」の達成および「神奈川県動物愛護推進員」の育成に寄与する
 - 2012年度の神奈川県動物愛護推進員に本協会より8名を推薦し、8名とも採用されることになった。(2年任期)
 - <推薦者>
 - ・NPO 法人キャットネットかまくら代表 村田圭四郎氏
 - ・NPO 法人相模どうぶつ愛護の会代表 佐藤桂子氏
 - ・NPO 法人アニマルライツセンター会員 小池美穂子氏
 - ・NPO 法人地球生物会議(ALIVE)理事 宮路正子氏
 - ・獣医師 根岸真見氏
 - ・NPO 法人キャットネットかまくら会員 市川英里氏
 - ・NPO 法人相模どうぶつ愛護の会監事 佐藤美津子
 - ・NPO 法人相模どうぶつ愛護の会会員 牧田ちさと氏
- エ 動物愛護週間に開催される神奈川県内の行事に参加し、情報の発信や里親探しを通して動物愛護精神の普及並びに啓発活動に寄与する
 - 動物愛護週間に開催される神奈川県内の行事に参加し、里親探しを通して動物愛護精神の普及並びに啓発活動に寄与する
 - 9/25(日)「横須賀動物フェスティバル」里親探し
 - ・10/16(日)「動物フェスティバル神奈川 in 湘南」に里親探し及び動物愛護普及啓発活動にて参加。動物愛護協会賞として「キャットネットかまくら」代表、村田圭四郎さんを表彰(賞金2万円授与)
- オ 大学等の研究機関との連携を図り、動物福祉研究の発展に寄与する。
 - 麻布大学動物行動管理研究室で行っているノラ猫のTNR調査などに協力する
 - 麻布大学獣医学部動物応用科学科 動物行動管理学研究室の「イエネコの生息調査」を横浜市神奈川区とも連携し、子安台1丁目のTNR及び町内アンケート調査を行った
- カ 「動物の愛護及び管理に関する法律」改正について広く周知を図ると共に、意見提出を行うことで法改正に寄与する
 - 1月22日 動物愛護法改正意見交換会(ペット法塾主催)にて、飼い主不明猫の引取り義務緩和に向けて講話
- キ その他
 - 神奈川県鳥獣総合対策協議会外来生物等対策専門部会(山田)・サル対策専門部会(小島望氏推薦)委員